



H18.10.27 1215
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行 = 指導部 漁政課
URL: <http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

1. 桜えび漁業生産技術研修会を開催 平成18年秋漁の見通しを発表

県桜えび漁業組合では10月19・20日の両日、平成18年秋漁を前に、例年開催している桜えび漁業生産技術研究会を由比港漁協、大井川町漁協において夫々開催しました。

研修会では、県水産試験場田中副主任より、平成18年主産卵場における卵・幼生の出現状況と水温環境、駿河丸による産卵調査結果や、平成18年秋漁の見通しと現在の資源状況について説明が行われました。

今期の秋漁の見通しは、漁期前調査などにより、今年の親エビ(1歳魚)の残存量は昨年より少なく、体長は少し大きいとなっています。今年生まれで漁獲の主体となる子エビ(当歳)の資源密度は昨年とほぼ同じで、体長は少し小さいとなっています。

2. 平成18年1~9月における海難の発生状況(速報値)を公表

海上保安庁では、このほど平成18年1月から9月に発生した海難隻数及び海難に伴う死者・行方不明者の速報値を取りまとめ発表しました。

それによると、平成18年1~9月における海難隻数は1810隻(去年同期比44隻減)で、このうち9月は、昨年同月より18隻増加していますが、この中には台風により転覆などした係留中の漁船25隻が含まれます。また、海難に伴う死者・行方不明者は53人(同33人減)でした。

船舶の用途別では、漁船が540隻(同52隻減)、貨物船が261隻(同2隻増)などで、海難の種類別では、衝突が658隻(同47隻減)、運航障害(バッテリーの過放電や燃料欠乏による漂流等)が215隻(同57隻増)などとなりました。

3. 口坂本の森クラブ 秋の活動を開催

本会では10月22日、静岡市葵区口坂本悠久の森において、口坂本の森クラブの構成メンバーが一堂に会する、秋の全体活動を開催しました。

当日はA~F班の約60名の参加があり、そのうちA班(漁業者グループ関係)からは14名(参加団体:静岡漁協青壮年部・由比港漁協(蒲原)女性部・県生協連・県漁連)が参加し、下草刈作業を行いました。

今回は、夏の下草刈りが天候不順により実施できなかったこともあり、ススキなどが背丈ほどに成長し、参加者は汗を流しながら下草刈を行いました。今後も多くの関係者の参加を得て活動を推進し、森を通じた川や海の環境保全に役立てばと願われます。

4. 焼津水産高校がマダイを標識放流する

静岡県立焼津水産高校は、文部科学省の「目指せスペシャリスト」研究指定校として、多岐に亘る事業を展開し、その一つとしてこのほどアンカータグを装着したマダイの放流を焼津地先の一色沖で行いました。

放流したマダイは体長11センチ前後で、1,000尾にブランク(番号なし)の白色アンカータグを装着しました。この事業は3年間継続して行われ、来年度以降はタグの色を変えて放流

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

します。今回の標識放流魚を採捕されましたら下記までご連絡下さい。

連絡事項: 採捕日、採捕場所、漁具・漁法、体長

連絡・問合せ先: 静岡県立焼津水産高校栽培漁業課 担当教諭(杉本・黒田)

TEL: 054-628-6148 FAX: 054-253-9343

5. 「アイゴを食べて藻場を回復しよう」シンポジウムの開催のお知らせ

(独)水産総合研究センターでは11月6日、御前崎海鮮なぶら市場において、アイゴを食べて藻場を回復しようをテーマにシンポジウムを開催します。

御前崎市榛南地区の沿岸では、海藻が消失し、回復が見られない、「磯焼け」が続いています。それは、アイゴ、ブダイ、イスズミなど「海藻を食べる魚たち」(植食性魚類)による食害が大きな要因と考えられています。

現在、榛南地区では、これら植食性魚類を食べる習慣がないことから、積極的な漁獲もされず、定置網などに混獲されても有効に利用されていません。榛南地区沿岸の藻場回復のためには、これら植食性魚類の積極的な漁獲が必要と考えられます。

このシンポジウムは、アイゴを中心に、その食文化が根付いている和歌山、九州の調理、加工法に関する情報を提供して頂き、榛南地区で未利用のアイゴをホテルや民宿等で提供できるようにし、積極的な漁獲が促進されることを目的としています。

場所: 御前崎海鮮なぶら市場 日時: 11月6日(月) 10:30~17:00 参加方法: 参加無料/当日会場に直接出向く

問合せ先・主催: 水産総合研究センター水産工学研究所 TEL: 0479-44-5935

6. 全国漁業協同組合学校が平成19年度学生を募集

全国漁業協同組合(千葉県・柏市)は、「JFを担う若きリーダーを育む」を教育目標に、平成19年度(第68期:基礎コース)第1回目の入学願書受付を開始しています。

募集はJFに関心のある高校生や、JF団体役員・組合員の子弟の他、JF経営に資する人材育成のための若手職員の派遣や新人育成を目的とする採用前学生の派遣など、勤務中または将来の勤務予定者の人材育成の場としての活躍を視野に入れて行っています。

募集人員: 50名(男女共学) 入学資格: JFグループの推薦を得て次のいずれかに該当した者のうち同校が行う選考に合格した者。 1年以上漁業に従事し、またはJFグループに勤務中の者。 高卒(見込者を含む)または、同等以上の学力を有すると認められる者。 募集期間/(選考日): 第1回目=平成18年10月2日~11月10/(11月24日) また、同校では第2回目の願書受付も行う予定で、期間は平成18年12月1日~平成19年1月19日までです。 応募先: 出身地域のJF漁連会長、県域JF組合長宛 入学選考料: 3万円 第1回目の入学発表: 平成18年11月30日

問合せ先: 全国漁業協同組合学校 住所: 〒277-0854 千葉県柏市豊町1-4-5 TEL: 04-7144-8125

7. 会議・日程(10月31日(火)~11月13日(月))

- 既報分省略 -

11月 7日(火) 県漁船保険組合 = 理事会 (県水産会館)

11月11日(土) 県おさかな普及協議会 = 第2回イキイキ高校生おさかな料理コンクール 実技審査会(静岡・鈴木学園)

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう